



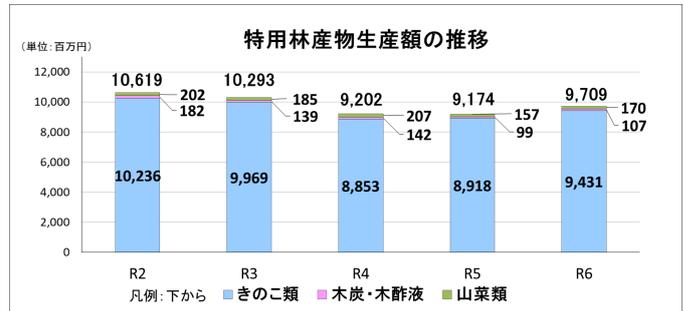
行政の窓



令和6年 特用林産統計について

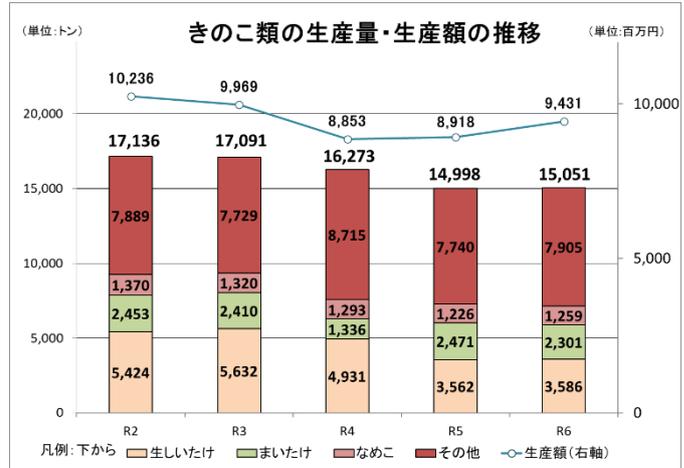
【特用林産物総生産額】

令和6年における道内の特用林産物の総生産額^{※1}は、約97億円（前年比106%）と前年並となりました。総生産額のうち、「きのこ類」がもっとも多く、約97%を占めています。



【きのこ類の生産動向】

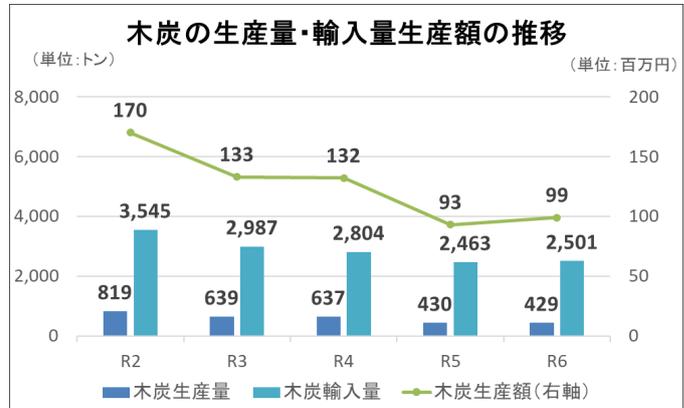
令和6年のきのこ類の生産量^{※2}は15,501トン（前年比100%）、生産額は約94億円（前年比106%）でした。道内で生産量が多い「生しいたけ」（原木及び菌床）は、3,586トン（前年比101%）と前年並となりました。次いで生産量の多い品目は、「えのきたけ」、「ぶなしめじ」ですが、秘匿措置^{※3}としており、「その他」に含まれます。これら3品目で全道きのこ生産量の約69%を占めています。



【木炭(黒炭)の生産動向】

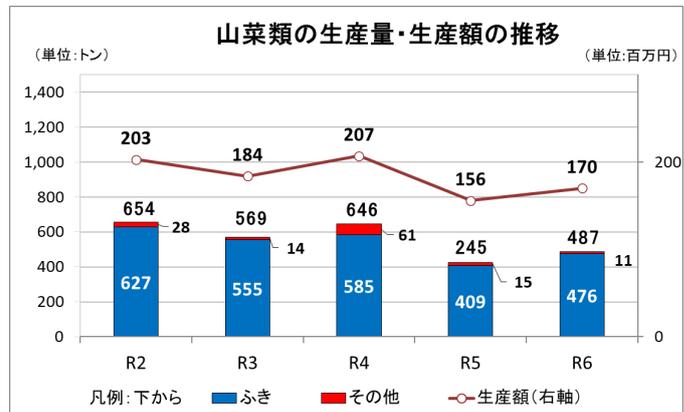
令和6年の生産量は430トン（前年比100%）、生産額は約99百万円（前年比106%）と、ともに前年並となりました。

なお、輸入木炭についても、2,501トン（前年比102%）と、前年並となりました。



【山菜類の生産動向】

令和6年は生産量が487トン（前年比115%）、生産額は約170百万円（前年比109%）と、いずれも前年を上回りました。



※1 生産額は推計額です。（以下全て同じ）

※2 生産量は速報値です。（以下全て同じ）

※3 統計調査の公表にあたって、調査対象者数が2以下の場合、個人又は法人その他の団体に関する調査結果の秘密保護の観点から秘匿措置を施しています。

（水産林務部林務局林業木材課木材産業係）